全日本バレーボール高等学校選手権大会　愛知県予選会

女子優勝チーム　豊橋中央高等学校



勘解由圭太監督

決勝を終えた今の気持ちは？

実感があるとかないとかではなくて、体力的にも厳しいこの 20 日間だったので、ほっとしたという気持ちです。

タイム中に選手へ掛けた言葉は？

リードをしている時は追いかけられる側なので、とにかく勝とうと思わずに動こうという動きの指示を。負けている時の追い上げでは、とにかく相手のマークまたはブロックレシーブの配置に意識を持つことを声かけしていました。

今日一番印象に残ったプレイは？

最後の苦しい場面で決めた 5 番の中村のプレーです。思い切ったプレーがうちのチームの信条であり、真ん中からのセンターセミが特徴なので、最後に流れを持ってきてくれました。

全国大会までに強化したいこと

準決勝が終わって決勝までの 20 日間も、挑戦というテーマを掲げていました。調整をすることも考えず、さらにレベルアップしていこうと取り組んできました。春高に向けても期間は短いですが、ここからまた 1 ヶ月で成長ができると思いますので、とにかく色々なことの技術の上乗せと、色々な精度を上げていくこともしたいです。

全国大会に向けての意気込み

ベスト 4、センターコート目指してやっていますので、今よりも成長した豊橋中央高校を皆さんに見てもらえるように頑張ります。

小嶋こはる主将

決勝を終えた今の気持ちは？

インターハイで悔しい思いをしたので、まずはその悔しい気持ちを晴らせた喜びと、全国を決められたという安心感があります。

キャプテンとして掛け声で意識していること

自分はディグリベロで点を取った時に入るので、ブレイクするために相手のどこが弱いとか、攻める気持ちがないと思い切り勝負ができないと思うので、その前向きな声かけは意識していました。

今のチームの強みは？

3 年生しかいないチームで最後の大会だからこそ、後悔のないように思いっきりやるという気持ちがあります。1 年生から試合に出させてもらえている子も多いので、経験もあるチームだと思っています。

全国大会までに改善したいポイントは？

まずはディフェンスの部分で連携が取れていないことも多いので修正したいです。攻め急いで自分たちのミスが続く場面も多いので、もう少し冷静にできるようにしたいです。

全国大会に向けての意気込み

インターハイに出られなかった分も、この春高の舞台で結果で恩返しをすることと、今まで全国でベスト 4 という目標を掲げてやってきたので、後悔のないように目の前の 1 点に全力で戦っていきたいです。





